



平成27年6月号(隔月発行)

札幌司法書士会 会長 猿田史典 編集担当責任者 番井菊世 <http://www.sihosyosi.or.jp/>

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地 電話 011-281-3505 FAX 011-261-0115

## 6月1日 改正道路交通法 施行

## 自転車のルールを見直そう



今月は北海道で飲酒運転が疑われる痛ましい交通事故が発生しました。

交通事故は一瞬で人生を変えてしまうこともあり、常に注意・啓蒙をしていく必要があります。そんな中、「自転車」の罰則を強化した改正道路交通法が6月1日から施行になっています。自転車は免許制ではないため、誰もが乗れる経済的で身近な乗り物ですが、一方でルールを学ぶ機会がなかなかありません。そこで今回は誤解されがちな自転車のルールの基本を確認してみます。

### 「違法」な危険行為を確認しよう

自転車だと車よりも違反意識が薄くなりがちなのが、「飲酒」「携帯電話利用」「信号無視」などです。当然これらも違反行為になるので厳禁です。そのほか、「傘の使用」「イヤホンの使用」「自転車の並走」なども、マナー違反ではなく法律違反となり、それぞれ罰則がありますし、何よりも危険なので行ってはいけません。

### 自転車は「軽車両」!

自転車は「軽車両」として道路交通法の規制を受けます。違反すると罰則がありますし、人や物にぶつかって損害を与えたときに法律を守っていたか否かが過失・重過失の判断に重大な影響を及ぼします。きちんと法律を学び、子供や周囲に伝えることが重要です。

### 今回の改正は自転車の罰則強化

今回の改正では、14歳以上の自転車を運転する者が、危険な運転となる14項目の違反行為によって、取締まれて反則切符を切られるか、交通事故を起こすかのいずれかを、3年以内に2回おこなった場合に講習の受講義務が発生します。この受講義務に違反すると、5万円以下の罰金刑が科されます。その14項目とは、信号無視や、飲酒運転、通行禁止違反(車道での逆走がこれにあたります)などです。

### 自転車は原則車道を走る

歩道を走る自転車は多く、「車道を走るのは怖い」との声もききます。しかし、自転車は車道と歩道の区別がある道路では、原則車道を走らなければならない、例外として歩道を走行する際は歩行者の通行を妨げない速度と方法で通行しなければなりません。歩道を走行することが、歩行者の通行を著しく妨げることになる場合は、自転車は歩道を通行してはなりません。車からしても、車道を走る自転車は認識していますが、歩道を走る自転車は認識しにくいといえます。夜間の走行は前からも後ろからも認識出来るようライト・反射板も必携です。

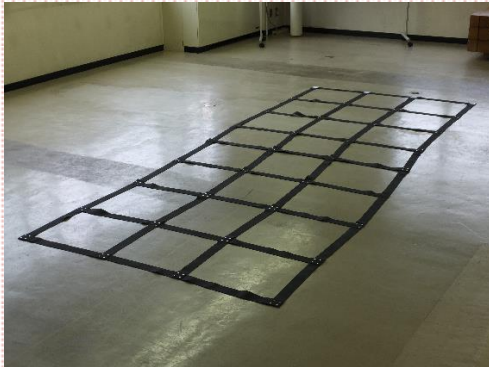
また、こうした刑罰の他に、民事的な責任を追及されるケースも増えています。道路交通法を学び、自転車の損害保険に入るなどの予防が必要になっています。

自転車のルールについては、北海道警察ウェブサイトで、「自転車安全教育用図説パンフレット&パソコンソフト」を配布しています。学生用ではありますが、成人も法改正などを学ぶ機会が必要です。



先号でご紹介した釧路社会的企業創造協議会での取り組み。その事業の一つである「ふまねっと」の製造・指導は大変興味深いものだったので、ご紹介いたします。

「ふまねっと」とは、写真のようなネットです



このネットを踏まないように手拍子と共に歩くのですが、正直「それだけ？」と思います。

ところが、見た目の地味さで侮るなかれ、これが「介護予防」「健康づくり」に役立つのだから驚きです。その意外ポイントをご紹介いたします。

### 1. 歩けなくなる原因は筋力だけではない

目から鱗だったのが、歩行が困難になる高齢者の中には、身体機能ではなく「体重移動の仕方が分からなくなって歩けなくなる」事例があるとのこと。歩かないと身体機能も衰えてきます。このふまねっとで右左の足を順番に進めていくことで、歩行の方法を思い出し、筋力を維持し認知機能が改善された事例も出ているそうです。転倒防止などの介護予防にもつながること。なるほど！

今回私たちは「ふまねっと」を製作している現場である釧路社会的企業創造協議会へ取材に行きましたが、「ふまねっと」の使用サポーター、インストラクターの養成や販売などは札幌市の「NPO法人地域健康づくり支援会ワンツースリー」が行っております。ウェブサイトには詳しい説明がなされております (<http://www.1to3.jp/>) ので、ご興味のある方はご参照ください。

### 2. 考えられた性能

ただの網に見えますが、①足を引っかけない安全性②それでいてきちんと「踏んだ」感触のある厚み③折りたためて持ち運びに便利④場所を選ばない、と実に機能的です。

### 3. ふまねっと運動は楽しい！

これを歩くの、楽しそうに思えますか？思えませんよね。私もそう思いました。しかし、実際にやってみるとこれが不思議と楽しいのです。



最初は足踏みだけ、「右・左・右右」など様々なバリエーションで行います。次に手拍子をつけるとより高度に。間違えると笑いが出るし、こんなことと思いつつも出来ると嬉しいものです。ふまねっと指導員は資格制になっているようです。指導員さんがたくさん褒めてくれて、原始的な喜びを刺激します。

これは凄い実力派だと一同感心しました。この「ふまねっと」は、釧路の漁網技術を利用して中間就労自立支援として製作されています。

### 編集後記

インターネットが普及して随分たちますね。私はインターネットが日本に上陸し、「インターネットカフェ」（1時間3000円！）で初インターネット経験をしたのが1994年です。あのころはいわゆるコンテンツの数がなく、調べたいものになかなかたどり着けませんでした。一方今は情報があふれていて、怪しげな情報や出典がわからない情報がはびこっております。先人の名言「過ぎたるは及ばざるがごとし」をまさかインターネットで実感することになるとは言った人も想定しなかったでしょう。某庁がトンデモ科学？と言われている食品を紹介して炎上した事件に触れ、しみじみ思いました（K.T）